

# 校内研究について

## 1 今年度研究主題

研究主題

学習の楽しさを味わい、主体的に学ぶ子どもの育成  
～文学的文章の読みを通して、思考力を高める国語科学習指導の育成～

## 2 今年度の研究について

本年度も国語科の「読むこと」の領域で研究することになり、研究主題も昨年に引き続き「学習の楽しさを味わい、主体的に学ぶ子どもの育成」となった。また、研究の幅を広げるためにも本年度は、「文学的文章」で研究を進めていくことになった。

今年度も仮説研究を行う。分科会ごとに目指す児童像を設定し、それを実現するための手立てを工夫して取り入れた授業研究を行う。

## 3 今年度研究仮説について

分かることから味わえる楽しさを感じさせるために、思考力を高める原動力となる、児童の主体的な学びにつながる単元を計画したり、思考力を高める学習モデルを行ったり、「思考力」の礎となる、言語環境を整理したりすることで、研究主題である「学習の楽しさを味わい、主体的に学ぶ子ども」が育つであろう。

## 4 研究の内容について

学ぶ楽しさとは

『分かる授業から生まれる』→『学ぶ楽しさ』

- 明確な課題提示より、知的好奇心が喚起され、追究したい気持ちになったとき
- 追究したい課題について、自分の考えがもてたとき
- 自分の考えた過程を友達と共有し、共感・納得・考えが深まったとき

楽しさは、言語の意味を知識として記憶するのではなく、言語で表現されたことを理解し、既習事項や生活経験に基づいて解釈することから楽しさが生まれる。叙述の内容をこれまで身に付けた言語感覚で受け止め、目的に応じて的確に理解し、自分なりに豊かに想像することから楽しさが生み出されると考える。

主体的に学ぶ姿とは

学習課題や自分の立てた問いの解決に向けて、単元のゴールイメージや問題解決の見通しをもたせ、自分の読みを叙述から説明しようとする姿と捉える。また、学習活動において教材と真剣に向き合ったり友達と試行錯誤したりしながら課題や問いを解決し、新しい課題を見出して学びの連続性をつくり出す姿と捉える。

そこで昨年度の研究を引き継ぎ、児童が分かる授業から生まれる楽しさを味わえることで、主体的に学ぶ児童が育成できると考えた。

# 「研究仮説イメージ図」

分かる授業から生まれる  
学ぶ楽しさを味わう



主体的に学ぶ児童が育成でき

## <分かる授業にむけて（研究の手立て）>

- ① 思考力を高める原動力となる、児童の主体的な学びにつながる単元設定・・・子どもの問いをもとに作り出す単元計画
- ② 思考力を高める学習モデル・・・問題解決的な授業モデル、理由の書き方（叙述、考え、結論）の統一、キーセンテンスを拾うことで生み出される「確かな」読み
- ③ 「思考力」の礎となる、言語環境を整える・・・学習規律の徹底、基礎学力の定着（ベーシックタイムの活用、視写・聴写、読書活動の取り組み、国語辞典の活用）

## <思考力の礎になるもの>音読、語彙力、漢字の定着、読書量

### <協議の視点>

- ①学習内容が分かることで、児童の主体的な学びにつながったか。
- ②主体的な学びを生み出すための手立ては、適切であったか。